

# 浅羽西地区

構成自治会連合会：浅羽西



太田川や豊かな田園風景が広がる環境の中で、まちづくり協議会を中心に世代を超えた交流が生まれ、地域活動が暮らしを彩る元気な地域です。

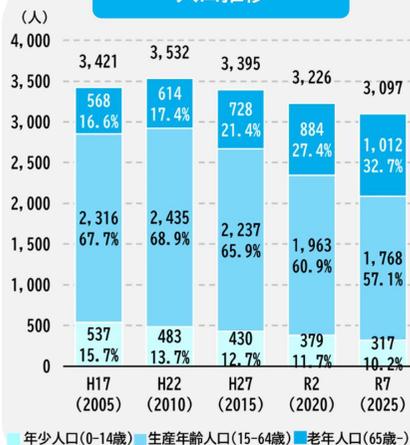
## 現状 (SWOT 分析「強み」から)

1. 太田川や原野谷川、広大な田園地帯など、豊かな自然があります。温暖で過ごしやすく、松秀寺や浅岡八幡神社などの歴史・文化資源があります。
2. 米や温室メロンなどの農業が盛んで、地元食材の販売もコミュニティセンターなどで行われています。
3. 地域住民のつながりが深く、コミュニティセンターと幼稚園との連携も良好です。
4. ウォーキングやグラウンドゴルフ、でん伝体操などの健康づくり活動が活発です。
5. 袋井市街地、磐田、JR 御駅へアクセスが良好です。
6. 近郊に医療機関が多く、地域医療が充実しています。
7. 二瀬公園や多目的運動広場、遊歩道など、スポーツや健康づくりを行う環境が整備されています。
8. 防災意識が高く、火災が少ない地域です。

## 課題 (SWOT 分析「弱み」から)

1. 子どもや若い世代の減少で地域活力やつきあいの希薄化が懸念されます。
2. 若者の減少や一人暮らしの高齢世帯が増加するなど、人口減少と高齢化が急激に進んでいます。
3. 高齢者の移動手段が限られ、公共交通(自主運行バス、デマンドタクシー)では買い物や通院が不便です。
4. 自治会加入者や消防団員の減少により、地域の担い手不足が懸念されます。
5. 外国人と日本人が地域で共に暮らすためには、コミュニケーションをはじめとした工夫が必要です。
6. 集落内の道幅が狭く、災害時に道路が閉塞する可能性があります。自然災害や液状化への対策が必要です。
7. 主要道路以外に街灯が少なく、防犯や災害時の安全確保に不安があります。

## 人口推移



(参考) 高齢化率 16.6% (H17) → 32.7% (R7)

## まちづくりの方針図



## スローガン 目指すまちの姿

世代を超えた交流でつながる  
安心・安全で住み続けたいまち

## まちづくりの推進方針

### 1. まちづくり協議会を中心に、世代がつながる交流と安心のまちづくり

コミュニティセンターを拠点に、子どもから高齢者まで世代を超えて交流し、見守りや防災などの地域活動を通じて、安心して暮らせる地域を育みます。

### 2. 自然の豊かさを活かし、若い世代が活躍する活気あるまちづくり

自然の豊かさを活かし、若者や子どもが地域に関わりながら、人が集い、住み続けたいまちを目指します。

## 地域内の取組

まちづくり協議会主導

- ウォーキング、農産物販売など自然や農業を活かした体験型イベントの開催
- 農家と連携した収穫体験、料理体験
- 地域活動への子ども・若者の参加促進
- 地域全体での子育て応援(夏休み子ども大作戦など)
- コミュニティセンターを拠点とした交流事業
- 登下校時に合わせた子どもの見守り活動の充実(スクールガードボランティア)
- 防災体制の見直しと強化(となり組など)

- e スポーツを活用した異世代交流、世代間交流を深めるイベントの開催
- 若者の移住促進、畑の貸し出し
- 生活支援ネットワークによる外出支援、生活支援(買い物・通院など)の充実
- 災害時の要支援者調査と取組の強化、地域防災マップの作成
- 浅羽西幼稚園跡地利用の検討

- ◇ 県道中野諸井線道路整備事業
- ◇ 多目的運動広場(浅羽西・二瀬)維持管理事業

○ まちづくり協議会が主導する取組 □ 協働による取組 ◇ 行政が主導する取組

## 地域のみなさんの声 (取組を進める上で参考となる意見など)

- 犯罪が少なく、安心して暮らせる地域として、防犯対策(犯罪の抑止)が大切である。定期的な草刈りなど、きれいな環境を維持していくことが犯罪の抑止につながると思う。
- 浅羽西地区の高齢者は、1,000 人を超え、この 20 年で約2倍に迫る勢い。その半数が高齢者のみの世帯なので、これまでは違った高齢者対策が必要である。
- 幼稚園児数が減少し不安を感じる。少人数のメリットもあるが、多くの出会いも大切な時期である。
- 多文化共生社会が進む一方、ごみ処理や無断駐車、騒音等の課題も発生している。自治会だけの対応には限界があるので、市から警察等へ対応をお願いしてほしい。
- 高齢化が進んでおり、自分たちで地域の美しい環境を保ちたいが、難しくなっている。少しでも安全に作業できるように、今後もラジコン草刈機を貸し出してほしい。草刈機の追加や土日の活用検討もお願いしたい。
- 野菜づくりを通して、子どもが楽しく食育が学べるとよい。
- 自主運行バスやデマンドタクシーの利用方法をもっと多くの方に周知できると活用が進むのではないかと。
- 地域の若者は確実に減少している。市のレベルで出来る取組を行ってほしい。
- e スポーツなどの世代間交流で地域活動を活性化したい。